

駒の里過疎対策プロジェクト支援金事業 自己評価報告書

		評 価 日	2024年	3月	20日
団 体 名	望月お弁当プロジェクト				
事 業 名	望月お弁当プロジェクト				
事業経費③	191,620 円	支援金額⑨	120,000 円		

事業 の 目 的 ・ 内 容	地域の課題 望月地区の地域課題として、過疎化、少子化問題はとても深刻なものとなっています。しかし、望月地区在住者には「食」や「農」に関心のある人が多いことが特徴として挙げられます。新しい若い世代と長く地域に根ざした暮らしをしている地元の方たちとを繋げ、「食することは生きること」というキーワードを軸に「食」の大切さを伝えるイベントを企画、実施。地産地消を進めフードロスを減らし、望月から脱炭素社会の実現を発進していきます。
	事業内容 ①映画「弁当の日」上映会の実施 「弁当の日」は、ただの食育映画の枠を飛び越え、100年先の未来を私たちはどう生きていきたいか、子どもたちにどんな世界を残していきたいかを問題提起してくれる深いテーマ性を持つ映画です。映画を通して現代社会に蔓延する貧困問題、育児放棄、幼児虐待などの様々な社会問題を解決する糸口を見つけることを期待します。 ②武下和男先生講演会の実施 「弁当の日」の発起人である竹下和男先生のお話を直接聞くことにより、上記のような社会問題を自分事として掘り下げ、より良い「食」を選択することで、社会や環境を変えられるという意識を参加者1人1人が持つことを目標とします。

事業 の 活 動 実 績	①「弁当の日」上映会の実施 日時：令和6年2月23日（金）13：30～16：00 場所：桜が丘ふれあいセンター（佐久市協和） 大人参加費：500円 高校生以上の大人の来場者数：48名 子どもを含む延べ来場者数：55名 ●会場では、佐久地域で安心安全な「食」に関わっている他の団体の活動を紹介し、想いを共有する他団体との繋がりも深めました。 ●上映前に「望月お弁当プロジェクト」の目指すビジョンやミッションについて参加者の皆様にお話し、この映画を通して伝えたい私たちの想いを共有しました。
	②竹下和男先生講演会の実施 日時：令和6年3月10日（日）13：30～16：00 場所：長野県立武道館 参加費：無料 子どもを含む延べ来場者数：107名 ●講演は質疑応答を含め2時間に渡り、とても熱のある充実した内容となりました。講師の竹下先生が「弁当の日」の取組みを通じて100年先の未来まで伝えたいメッセージ、「くらしの時間を大切にすること」「子育てが楽しいと思えるお母さんを増やすこと」が本当に身に染みて伝わり、講演中、多くの参加者が心を動かされ、涙を流している姿も見られました。 ●会場では竹下先生に関連する著書を販売し、講演会で聞いた内容をそれぞれが自宅に持ち帰って深めてもらうようにしました。購入した本には、その場で先生にサインをしていただきました。 ※上映会、講演会ともに佐久市教育委員会の後援を取り、市内の各保育園、幼稚園、小学校、中学校にチラシを配布。その他市内の図書館等の公共施設、道の駅、病院、薬局、カフェ等にチラシを設置しました。また、SNSによる宣伝にも力を入れました。



事業の成果・効果	●「弁当の日」の取組みを佐久地域の多くの人にお伝えすることができた 2001年、香川県から始まったこの「弁当の日」の取組みは、今や47都道府県を網羅し、その実践校は2400校を超えています。しかし、残念ながら佐久地域では未だ一校も定期的な実践には踏み切れていません。まずは「弁当の日」の概要を知っていただき「食」に対する意識変換を促すのに、上映会と講演会は大いに役立ちました。参加者の皆様からは、「弁当の日の食育活動を佐久地域にも是非広めていきましょう」という嬉しい声もたくさんいただきました。 ●2つのイベントを連動させることで、より効果的にメッセージを伝えることができた 上映会で「弁当の日」の概要を知ってもらい、その後の講演会で内容を深めるという2段階での実施により、上映会の参加者が講演会にも申し込むパターンが多く見られました。「弁当の日」の映画を見て興味関心を持ってくれた方が、その取組みの提唱者である竹下先生のお話を直接聞くことで、参加者の皆様に「食」の大切さについてより深い学びを提供することができたと思います。 ●地域コミュニティの再構築に繋げることができた 上映会は、望月お弁当プロジェクトの拠点でもある望月地区で行いました。望月地区は佐久市の中でも特に過疎化が進んだ地域ではありますが、老若男女、様々な団体が少なからずあり、それぞれが多岐にわたる分野で活躍されています。上映会にはこういった各団体に所属する地域の先輩方もたくさん来て下さいました。イベントを通して地域で活動している他団体と情報を共有することができ、積極的な多世代コミュニケーションを産み出すことができました。
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 自己評価を記入 講演会会場として予定をしていた佐久平交流センターの予約が取れず、会場を県立武道館に変更する等の不測の事態はあったものの、上映会、講演会とも申請通りのスケジュール、規模感で開催できました。
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 自己評価を記入 上映会、講演会ともたくさんの方にご来場いただき、「食の大切さ、親子で過ごす時間の大切さが実感できた」「感動した」「佐久地域でも弁当の日の取組みを広げていきたい」等、嬉しい言葉をたくさんいただきました。
		1 ほとんど同じ 多少の変更があった 3 大幅に変更している

実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	主な理由（2、3と答えた場合のみ） 降雪による交通機関への影響を懸念し講演会講師の竹下先生に前泊していただくことにしたので、宿泊費が嵩んでしまいました。また、より多くの人に知ってもらいたいという観点からチラシの印刷部数を増やしたので、印刷費用も予定よりも多めにかかってしまいました。
その他、評価すべき点等	望月お弁当プロジェクトメンバーは、元から「食」に対する意識、関心が高い人がほとんどですが、今回の上映会、講演会を通して、改めて「食べることは生きること」という言葉を実感として捉えることができました。参加者の皆様だけでなく、企画者1人1人も大きな学びと気づきが得られた素晴らしい機会となりました。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	●ここまでの規模でのイベントに主体として関わるのが初めての人、不慣れなメンバーが大半だったので、事前準備、ミーティングには時間を要しました。今回の経験を活かし、次回以降は役割分担を明確化、手順をマニュアル化し、集客方法についても更なるブラッシュアップを図りたいと思います。 ●今年度も「食」に関するイベントを年3～4回を目標とし、企画していきます。 【企画案：お弁当作りワークショップ】 望月の案有機農家さんのお米、野菜、調味料を使用して、親子で参加できるお料理講習会を実施します。親と子のふれあいの時間を提供すると共に、地元の有機野菜の美味しさを知ってもらい、地産地消の促進に繋がります。
---------	---